

# みんなの健康ラジオ

『熱性けいれんについて』

(2024年9月12日放送)

横浜市小児科医会

(医)ふじわら小児科

藤原 祐

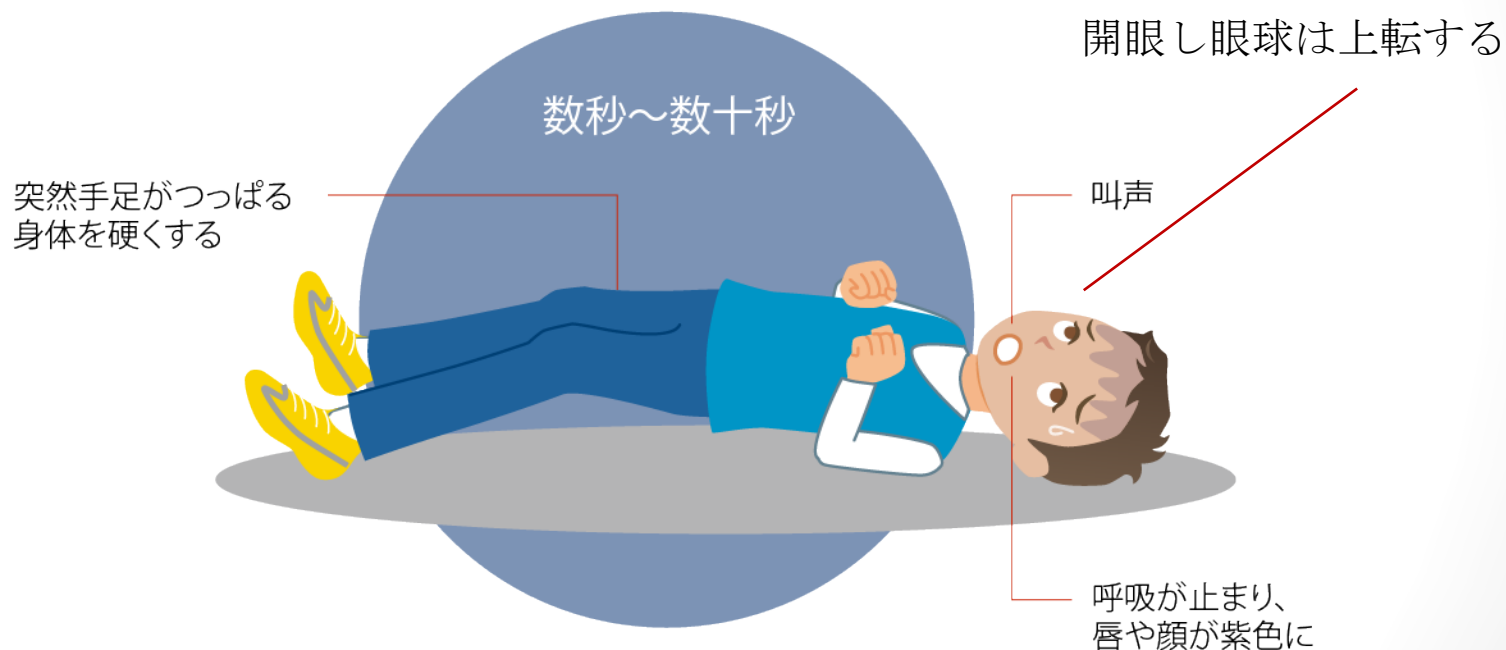
# 熱性けいれん

- 主に生後6～60カ月までの乳幼児期に起こる。
- 通常は38℃以上の発熱に伴い突然起こる病気。
- 髄膜炎などの頭蓋内（脳）の感染症や薬物中毒、その他の明らかなけいれんの原因がみられないもの。
- てんかんの既往があるものは除外される。

有病率は7-8% （15-20人に1人）

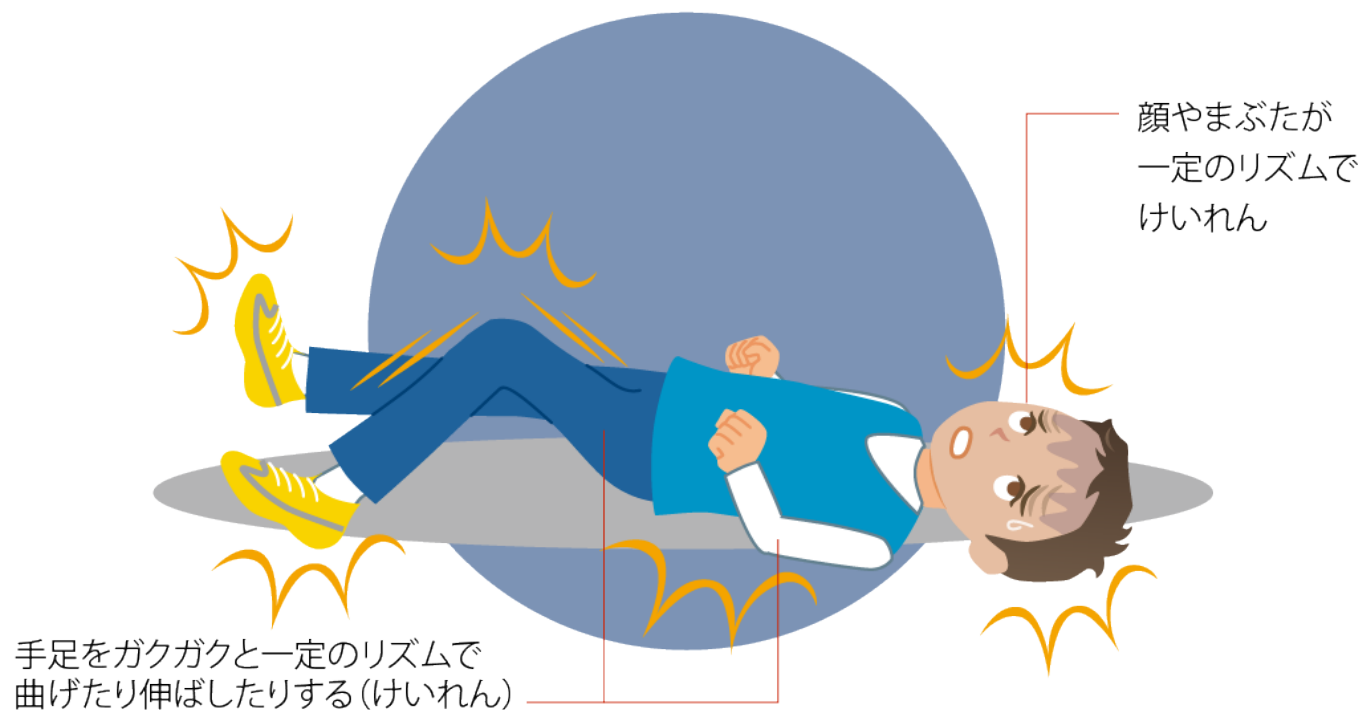
# 小児で多くみられるけいれん

## ～強直間代性発作～



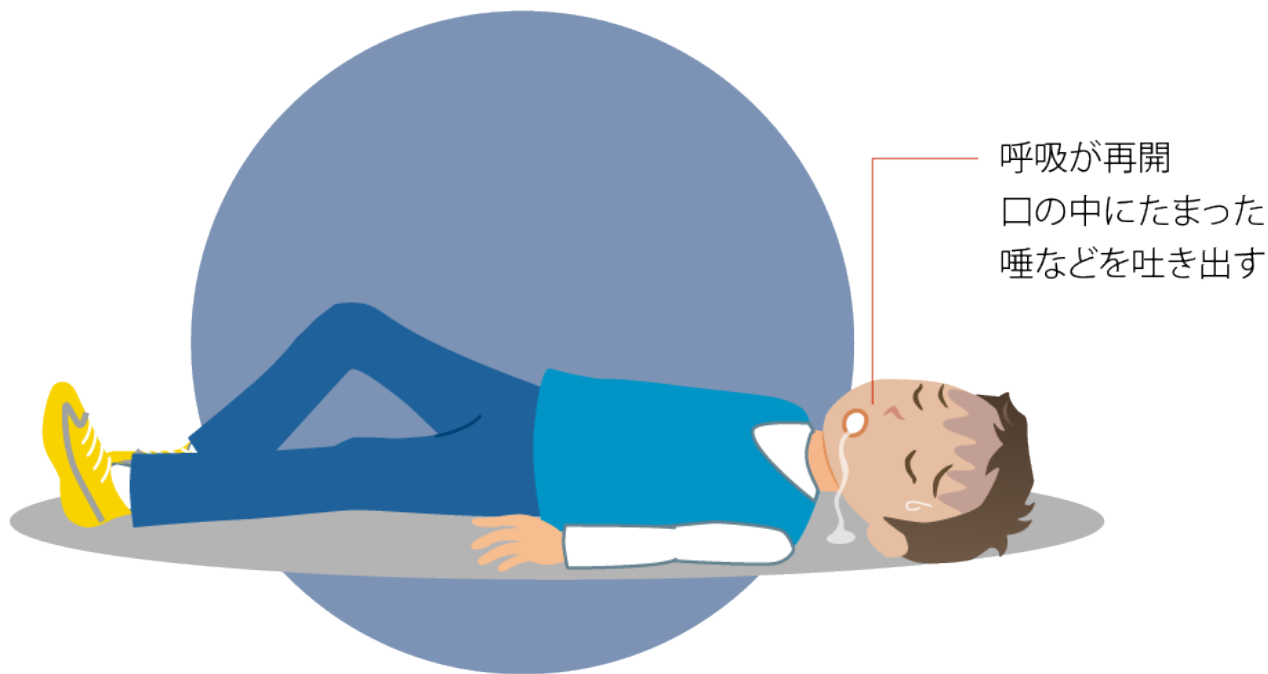
発作の始まり：硬直し倒れる

# 小児で多くみられるけいれん ～強直間代性発作～



手足がガクガク

# 小児で多くみられるけいれん ～強直間代性発作～



発作終了後：もうろうとしたり、寝てしまう事もある

# 熱性けいれんの分類

## ～単純型と複雑型～

- 複雑型熱性けいれん→入院し経過観察・精査することあり

以下の3項目の一つ以上をもつ

- 1) 焦点性発作の要素（身体の一部のみ、右側のみなど）
- 2) 15分以上持続するけいれん
- 3) 同一発熱期間内の、通常は24時間以内に  
複数回反復するけいれん

- 単純型熱性けいれん

上記のいずれにも該当しない